

華麗なる八重桜

日本を代表する花といえど何と云っても桜であろう。毎年春になると桜前線の開花予測が話題になる。これらは多くの桜の品種のある中でもソメイヨシノを指しているのだ。その魅力は花の美しさは勿論ではあるが、パッと咲いてパッと散る。その散り際の良さが日本人の心情に合うとのことであるようだ。私も全く同じ思いである。しかし開花期間があまりにも短いため、多忙な時期に当たってしまうといつ咲いていつ散ったのか、気が付いた時には終わってしまっていたことも人生多々あった。

八重桜の好きな人も多くいるであろう。私もそのうちの一人だ。ソメイヨシノが終わって1~2週間すると、丸くてふんわりした形の絢爛豪華な花が咲く。開花期間も長く自宅近くの並木道に華やかな彩を添えてくれる。

大阪造幣局の「桜の通り抜け」は毎年恒例の風物詩として誰からも愛されている。ここの桜は130品種、約350本が植えられているが、その大半は遅咲きの八重桜である。どれもこれも色といい形といい、美しさを競うかのように私たちの春を楽しませてくれる。

あまり連続もののテレビドラマは不規則な生活をしている私にとって見ることは少ない。しかし今奇しくもNHK大河ドラマ第52作（2013年1月~12月）が放送されている。そのタイトルが「八重の桜」である。華麗な桜は主人公の人生そのものなのであろうか。撮影2013年春



2013 年春